



本校は全校児童37名で、複式学級のある小学校です。湯日地区は周りを山々に囲まれ、学校の近くには湯日川が流れており、自然があふれています。お茶畑が広がる中を、子どもたちは毎日元気に登校しています。また、学校の前の山の上には「静岡の空の玄関口」である富士山静岡空港があり、毎日空港から飛び立つ飛行機を見ることが出来ます。

本年度は、学校教育目標「求め続ける子」のもと、重点目標の「よりよいものをめざして 心をこめて活動しよう」に向かって、家庭・地域との協働を大切にしながら、全職員で教育活動に取り組んでいます。また、家

本校は、富士山静岡空港や牧之原台地、静波海岸を有する牧之原市の旧榛原町にある、全校生徒544名の中学校です。「こころざしを育てる」の学校教育目標のもと、将来に目標を持って、主体的に生きる力を育むことができるようチーム榛原中あい言葉「あたたかいことは やさしいまなざし ていねいなかわり」を心がけ、生徒や保護者等とのよい信頼関係の中、教育活動を行っています。

庭・地域は「地域で子どもを大切に」という意識が高く、学校も家庭・地域から多くの協力を得ることができ、充実した教育活動へつながっています。



子どもたちは、明るく素直でひとなつこい子が多いです。少人数ということもあり、学年に

校・別室登校は少なくなく、人間関係のトラブルや家庭の悩み等を抱え、保健室に来る生徒に接していると、どんなことがあっても立ち直る心の回復力「レジリエンス」を育てていく必要性を強く感じます。



### 牧之原市立榛原中学校

養護教諭 杉山 恵

昨年度の学校保健委員会では、静岡大学の小林朋子教授からレジリエンスについて学び、今年度はレジリエンスを育てるために各委員会で行うことを考え、委員長が発表しました。早寝早起きが学習効果アップや登校の安全、朝読書への集中

す。一輪車活動では、バランス感覚が養われるだけでなく、粘り強く取り組んだり、できたときの達成感を味わったりと、子どもたちは様々なことを学んでいます。

### 島田市立湯日小学校

養護教諭 鈴木沙知枝

係なく互いをよく知って、温かな雰囲気の中で過ごしています。本校の自慢は、校技である一輪車に全校の子が乗れることです。一人技を集中して特訓したり、異学年で構成される縦割り班の集団演技で仲間と息を合わせたり、どの子どもも一生懸命に取り組んでいます。

方で、けがをしても、自分の状況を伝えることができずに我慢してしまったり、物を借りるときのあいさつや借りた物の返し方など、マナーが整わなかったりする様子も見られました。そこで、保健室では少人数の良さを生かし、丁寧に子どもと関わり「生涯につながる

（9項目）を点数化し、よい点を「元気ハツラツ榛中生」とし、全員が元気ハツラツ榛中生になれるよう保健委員会により、掲示、放送等により規則正しい生活習慣の大切さを呼びかけています。朝食や歯みがき等は改善されてきましたが、就寝時「いつてらっしゃい」

刻、スマホ等のメディアア時間は大きな課題です。保健室では来室記録カードに悩みや相談相手の有無、心の天気、元気の源等、心に関する項目を入れることで、心とからだのつながりに気づくことが

え。欠席する子が少ないだけでなく、けがや病気で保健室に来室する子どもも少ないです。でも、多くの子が保健室に元気な姿を見せに来てくれたり、いろいろな話をしてくる。教室へ戻ったりして、子どもたちとじっくり関わることもできるのも本校の良さの一つです。

との出会いから9か月、少しずつではありますが自分の様子を自分の言葉で伝えられるようになっていきます。マナーも身につけてきただけでなく、友達に教える姿が見られるまでになりました。



## げんきな事業所

### 協同組合 焼津水産加工センター

(焼津市惣右工門1280番地の2)

【1 会社紹介】  
協同組合 焼津水産加工センター（以下、「当組合」）は、昭和45年に焼津市が国の「産地流通加工センター形成事業」の指定を受け、その一環として水産加工場の集約化が進められた事により昭和47年に設立。公害防止等共同施設などを整備し、昭和49年6月1日かつお節製造を中心とする18企業が参加して全国有数の水産加工団地が稼動いたしました。

その後組合員数の増減を経て、現在では当組合の組合員は16社と

当組合の仕事は、団地工場内（組合員）の製造活動・企業運営を様々な共同事業でサポートすることです。当組合が行う共同事業は11部門あります。団地内工場等から排出される水産加工残さを原料に飼料・肥料を製造する化成事業、団地内

工場が排出する加工排水を酵母・活性汚泥の2段階にて集約処理し、余剰汚泥は脱水・乾燥にて肥料化している排水処理事業。その他に水事業、DSシヨック・資材販売、鯉節一次加工、金融事業、厚生事業、教育情報事業、外国人実習生受入事業等、さまざまな切り口で組合員の生産活動を、企業活動の発展に寄与するべく共同事業を展開しております。



化成工場



焼津水産加工団地の航空写真

【2 健康づくりへの取り組み】  
当組合では、職員の健康づくりのために主に4つの取り組みを行っています。

1. 当方は生産拠点である工場団地であり、法令で定められた定期健診も極力近隣で受診



超低温冷蔵庫 壁面カルタ



共同排水処理場

2. インフルエンザ対策として、毎年産業界に依頼しインフルエンザ予防接種を組合事務所にて行っており、組合事務所にて行ったインフルエンザ予防接種費用に関しては、組合負担とするなど予防接種を受けやすい環境を整えております。その結果、職員の90%以上は予防接種を受けるようになりました。

3. メンタルヘルスに関しては、法令に基づく「ストレスチェック」を全職員に対して行い、高ストレス判定者や希望者に対して産業医による個別相談を行います。またハラスメント対策としては、勉強会を

実施して内容等の周知をはかり、相談窓口「コンプライアンス室」を組織内に設け、迅速丁寧な対応をはかり、働きやすい職場になるよう取り組んでおります。

4. 毎年、夏には熱中症対策として各部署に生理食塩水の配布をしております。炎天下での現場作業は熱中症の危険性が高まりますので、休憩を小まめに取り体調が優れないなど感じたらすぐに生理食塩水を補給できるようにしています。

このような取り組みで、職員の健康づくりをサポートしています。今後も、ここから健康でいられる働きやすい環境づくりに努めていきます。